

議題提案書

【 】 協議事項

【●】 報告事項

議題名： 女性・平和・安全保障に関する行動計画（第2版のご報告）と
評価報告書について

【提案者氏名、所属】

氏名： 松田 友紀子

所属： 総合外交政策局人権人道課女性参画推進室

【議題提案の背景】

2000年に採択された女性・平和・安全保障（以下WPS）に関する国連安保理決議1325号が来年20周年を迎えるにあたり、WPSに対する国際社会の関心は国連外交の場だけでなくG7の枠組み及び実際の紛争影響国や脆弱国からのニーズとしてもこれまでになく高まってきている。我が国は安保理決議1325号及び関連決議の実施のための女性・平和・安全保障に関する行動計画を2015年に策定し、この3月に改訂版（第Ⅱ版）を発表した。その内容（WPSアジェンダという）は紛争予防、和平交渉、和平合意、平和構築、人道支援、復興・開発の全ての段階における女性の平等で意味のある参画と紛争下の性暴力やジェンダーに基づく暴力からの保護、適切な支援、法の支配による予防等を含め、包括的に取り組む内容であり、また、NGOを含めた市民社会との連携も重要視されている。外務省は日本の国際協力NGOを日本の支援を行う上での重要なパートナーとして位置づけ、多様なODAの担い手のひとつとしてNGOとの連携強化に取り組んできた経緯から、日本の国際協力NGOの活動においてもWPSアジェンダの実施促進が望まれる。

【議題論点】（ODA政策協議会で報告・議論したい点）

2015年に行動計画が策定され、2016年度から2018年度の三年間、その実施状況について外部有識者から評価報告書を執筆し作成いただいた。これには政府拠出及びジャパン・プラットフォーム（JPF）を通じた拠出による日本の国際協力NGOの活動実績も評価対象として含まれている。それを踏まえ日本のWPS行動計画の実施状況について周知し、今後の国際協力NGOの事業活動にも反映していただくことは国際社会への貢献として重要と考えるため、本定期協議会で我が国としての行動計画改訂版と実施状況の報告を行うことは有意義と考える。

以上